



2019年5月期 第3四半期決算短信(日本基準)(非連結)

2019年4月9日

上場会社名 株式会社 中北製作所
 コード番号 6496 URL <http://www.nakakita-s.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中北 健一

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 林 昌宏

TEL 072-871-1331

四半期報告書提出予定日 2019年4月11日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2019年5月期第3四半期の業績(2018年6月1日～2019年2月28日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年5月期第3四半期	14,121	13.1	910	30.5	1,055	27.2	723	26.3
2018年5月期第3四半期	16,253	1.2	1,311	10.0	1,448	9.9	982	11.0

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年5月期第3四半期	198.99	
2018年5月期第3四半期	266.60	

(注) 当社は、2017年12月1日を効力発生日として普通株式5株につき1株の割合で株式併合を実施しております。前事業年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年5月期第3四半期	26,238	21,240	81.0	5,855.40
2018年5月期	27,352	21,206	77.5	5,782.21

(参考) 自己資本 2019年5月期第3四半期 21,240百万円 2018年5月期 21,206百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年5月期		12.00		80.00	
2019年5月期		50.00			
2019年5月期(予想)				50.00	100.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 当社は、2017年12月1日を効力発生日として普通株式5株につき1株の割合で株式併合を実施しております。2018年5月期の1株当たり期末配当金については、当該株式併合の影響を考慮した金額を記載し、年間配当金合計は「-」として記載しております。株式併合後の基準で換算した2018年5月期の1株当たり年間配当金は140円となります。

3. 2019年5月期の業績予想(2018年6月1日～2019年5月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	18,500	15.1	1,200	28.7	1,380	25.5	950	25.0	261.44

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、(添付資料) 6 ページ「2. 四半期財務諸表及び主な注記(3) 四半期財務諸表に関する注記事項(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年5月期3Q	3,832,800 株	2018年5月期	3,832,800 株
期末自己株式数	2019年5月期3Q	205,337 株	2018年5月期	165,297 株
期中平均株式数(四半期累計)	2019年5月期3Q	3,635,491 株	2018年5月期3Q	3,683,716 株

(注) 当社は、2017年12月1日を効力発生日として普通株式5株につき1株の割合で株式併合を実施しております。前事業年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、期末発行済株式数、期末自己株式数及び期中平均株式数を算定しております。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、現時点において当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は、世界経済・為替相場変動等の様々な不確定要因により、予想数値と異なる可能性があります。

なお、詳細は(添付資料) 2 ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
第3四半期累計期間	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	6
(追加情報)	6
(セグメント情報等)	6
3. 補足情報	7
(1) 生産、受注及び販売の状況	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、雇用環境の改善が続くなかで、設備投資の増加もみられ、景気は緩やかな回復が続きましたが、米国の通商政策の動向などの影響も懸念され、景気の先行きは不透明な状況が続きました。

このような経営環境にあつて当社は、新造船市況の冷え込みによる厳しい価格競争のなか受注獲得に努め、陸上関連においてもガスタービン発電プラントを始めとした新規発電プラント等へのバルブや既存プラントでご利用いただいております製品の修理やメンテナンス関連の受注獲得にも注力しました。また、社内においても、生産性向上に関する改革・改善に継続的に取り組んでおります。

当第3四半期累計期間における受注高は、14,166百万円(対前年同期比2.8%増)となり、384百万円前年同期を上回りました。品種別にみますと、自動調節弁6,802百万円、バタフライ弁3,898百万円、遠隔操作装置3,466百万円となり、対前年同期比では、バタフライ弁が826百万円減少しましたが、自動調節弁は1,068百万円、遠隔操作装置は142百万円の増加となりました。

売上高では、14,121百万円(対前年同期比13.1%減)となり、2,131百万円前年同期を下回りました。品種別では、自動調節弁6,009百万円、バタフライ弁4,110百万円、遠隔操作装置4,001百万円となり、対前年同期比では、自動調節弁が510百万円、バタフライ弁は1,162百万円、遠隔操作装置は459百万円の減少となりました。輸出関連の売上高は、1,402百万円となり、前年同期を1,598百万円下回りました。当第3四半期会計期間末の受注残高は期首に比べて44百万円増の10,240百万円となりました。

利益面では、経常利益は1,055百万円(対前年同期比27.2%減)、四半期純利益は723百万円(対前年同期比26.3%減)といずれも前年同期を下回りました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期会計期間末の総資産は、前期末と比べ1,113百万円減少の26,238百万円となりました。これは主として、有価証券が1,400百万円増加したものの、現金及び預金が932百万円、売上債権が1,229百万円、たな卸資産が118百万円、有形固定資産のその他(純額)が147百万円、投資有価証券が131百万円それぞれ減少したこと等によるものであります。

負債の部は、前期末と比べ1,147百万円減少の4,998百万円となりました。これは主として、仕入債務が596百万円、賞与引当金が110百万円、未払法人税等が302百万円、流動負債のその他が103百万円それぞれ減少したこと等によるものであります。

純資産の部は、前期末と比べ33百万円増加の21,240百万円となりました。これは主として、四半期純利益が723百万円、配当金の支払474百万円により、利益剰余金が18,783百万円となったこと、自己株式の取得121百万円があったこと、また、その他有価証券評価差額金が402百万円(前期末と比べ93百万円の減少)となったこと等によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年5月期の業績予想は、2018年12月28日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」のものと変更なく、売上高185億円、営業利益1,200百万円、経常利益1,380百万円、当期純利益950百万円の見通しとしました。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (2018年5月31日)	当第3四半期会計期間 (2019年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,100,840	6,168,042
受取手形及び売掛金	6,566,684	5,489,507
電子記録債権	2,507,152	2,354,426
有価証券	300,912	1,701,732
商品及び製品	1,179,256	1,054,900
仕掛品	1,359,743	1,416,117
原材料及び貯蔵品	1,507,978	1,457,255
その他	512,822	515,731
貸倒引当金	△45,440	△39,230
流動資産合計	20,989,950	20,118,484
固定資産		
有形固定資産		
土地	1,704,512	1,704,512
その他(純額)	1,583,268	1,435,461
有形固定資産合計	3,287,780	3,139,974
無形固定資産		
	40,223	40,968
投資その他の資産		
投資有価証券	2,777,322	2,646,040
その他	257,104	293,350
貸倒引当金	△138	△138
投資その他の資産合計	3,034,287	2,939,252
固定資産合計	6,362,291	6,120,195
資産合計	27,352,241	26,238,680
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,312,471	1,216,098
電子記録債務	2,437,440	1,937,227
短期借入金	800,000	800,000
賞与引当金	231,000	120,500
製品保証引当金	152,000	136,000
未払法人税等	338,469	35,735
その他	557,914	454,389
流動負債合計	5,829,296	4,699,950
固定負債		
退職給付引当金	203,895	185,200
役員退職慰労引当金	45,160	45,160
資産除去債務	38,533	39,024
その他	29,094	29,094
固定負債合計	316,683	298,479
負債合計	6,145,979	4,998,429

(単位:千円)

	前事業年度 (2018年5月31日)	当第3四半期会計期間 (2019年2月28日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,150,000	1,150,000
資本剰余金	1,479,586	1,479,586
利益剰余金	18,535,131	18,783,798
自己株式	△454,228	△575,339
株主資本合計	20,710,489	20,838,045
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	495,772	402,205
評価・換算差額等合計	495,772	402,205
純資産合計	21,206,262	21,240,250
負債純資産合計	27,352,241	26,238,680

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期累計期間 (自2017年6月1日 至2018年2月28日)	当第3四半期累計期間 (自2018年6月1日 至2019年2月28日)
売上高	16,253,203	14,121,672
売上原価	13,483,281	11,818,746
売上総利益	2,769,921	2,302,926
販売費及び一般管理費	1,458,409	1,391,990
営業利益	1,311,512	910,935
営業外収益		
受取利息	11,771	11,561
受取配当金	42,833	43,967
不動産賃貸料	96,582	96,582
為替差益	4,814	7,778
雑収入	15,342	14,280
営業外収益合計	171,344	174,168
営業外費用		
支払利息	3,832	2,565
不動産賃貸費用	28,295	26,707
雑損失	1,804	482
営業外費用合計	33,932	29,755
経常利益	1,448,923	1,055,348
税引前四半期純利益	1,448,923	1,055,348
法人税等	466,843	331,907
四半期純利益	982,080	723,441

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)等を第1四半期会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

当社は、バルブ及び遠隔操作装置製造・販売事業の単一セグメントであるため、記載は省略しております。

3. 補足情報

(1) 生産、受注及び販売の状況

1. 生産実績

(単位:千円)

期 別	2018年5月期第3四半期 (2017/6~2018/2)		2019年5月期第3四半期 (2018/6~2019/2)		2018年5月期 (2017/6~2018/5)	
	金 額	構成比%	金 額	構成比%	金 額	構成比%
自動調節弁	6,485,040	40.1	5,886,153	42.6	8,762,851	40.7
バタフライ弁	5,244,375	32.4	4,025,904	29.1	6,893,316	32.1
遠隔操作装置	4,437,156	27.5	3,919,470	28.3	5,844,342	27.2
合 計	16,166,571	100.0	13,831,527	100.0	21,500,509	100.0

2. 受注状況

受注高

(単位:千円)

期 別	2018年5月期第3四半期 (2017/6~2018/2)		2019年5月期第3四半期 (2018/6~2019/2)		2018年5月期 (2017/6~2018/5)	
	金 額	構成比%	金 額	構成比%	金 額	構成比%
自動調節弁	5,733,575	41.6	6,802,354	48.0	7,655,753	42.5
バタフライ弁	4,724,688	34.3	3,898,295	27.5	5,718,276	31.8
遠隔操作装置	3,323,494	24.1	3,466,019	24.5	4,630,693	25.7
合 計	13,781,757	100.0	14,166,668	100.0	18,004,722	100.0

受注残高

(単位:千円)

期 別	2018年5月期第3四半期 (2018/2)		2019年5月期第3四半期 (2019/2)		2018年5月期 (2018/5)	
	金 額	構成比%	金 額	構成比%	金 額	構成比%
自動調節弁	3,871,655	33.6	4,226,158	41.3	3,433,431	33.7
バタフライ弁	4,183,340	36.4	3,251,722	31.7	3,463,783	34.0
遠隔操作装置	3,452,490	30.0	2,762,350	27.0	3,298,020	32.3
合 計	11,507,485	100.0	10,240,230	100.0	10,195,234	100.0

3. 販売実績

(単位:千円)

期 別	2018年5月期第3四半期 (2017/6~2018/2)		2019年5月期第3四半期 (2018/6~2019/2)		2018年5月期 (2017/6~2018/5)	
	金 額	構成比%	金 額	構成比%	金 額	構成比%
自動調節弁	6,519,791	40.1	6,009,627	42.6	8,880,193	40.7
バタフライ弁	5,272,478	32.4	4,110,356	29.1	6,985,623	32.1
遠隔操作装置	4,460,934	27.5	4,001,689	28.3	5,922,603	27.2
合 計	16,253,203	100.0	14,121,672	100.0	21,788,419	100.0
うち輸出高	3,000,457	18.5	1,402,114	9.9	3,761,474	17.3